



資産運用こぼれ話 お金について考えてみよう

寄稿：岡本 和久

<なんで生きてるの？>

たまには自分が何のために生きているのかを考えてみるのも良いのではないのでしょうか？朝になると目が覚め、夜がくると眠くなる。だから一日、生きている。まあ、そんな方はいないだろうと思います。日々の繰り返しの中でどんな方向に向かって進もうとしているのか、それが大切なのです。



お金持ちになるため？では出世するため？

保育園の時から英才教育を受けて、立派な大学を出て、大企業に入社する。あるいは公務員になる。そして高い地位につく。それなりに高給をとったり、権力を持ったりする。

でも、超優秀な人たちが組織の不祥事で嘘をつき続けたり、お詫びをしたりするのを見ていると、やっぱりちょっと違うかなと思います。

結論です。我々は「しあわせ」になるために生きているのです。お金持ちよりも権力持ちよりも、私たちは「しあわせ持ち」になるために生きているのです。

<六つの富(ふ)>

人生は「しあわせ持ち」になるためにあります。では、しあわせになるには何が必要なのでしょう。私は「六つの富」ということを提唱しています。「富」は「ふ」と読みます。

しあわせ持ちになるための六つの富は健康(フィットネス)、家族(ファミリー)、友達(フレンド)、趣味・楽しみ(ファン)、社会貢献(フィランソपी)、そしてお金(ファイナンシャル・アセット)です。英語では全部「ふ」で始まる言葉です。それで六つの「ふ」=「富」なのです。

六角形の頂点にこれらの富をイメージしてください。お金だけが飛び抜けてあっても後が非常に小さいと、しあわせだとは言えないでしょう。しあわせ持ちの人生はこの六角形がバランスがとれ、外



長期投資仲間通信「インベストライフ」

側に大きく広がっているのが良いのです。みなさんの六角形はどんな形になりますか？若い時からこのバランスを意識するのはとても大切です。

<お金とかけて何と解く？>

ある時、「お金とかけて何と解く？」という謎解きがありました。答えは「トイレット・ペーパーと解く」でした。「そのココロは、どちらも多すぎると困る」というのです。

あくまでお笑いの謎解きなので目くじらを立てるようなものではありません。でも、私はこの答は間違っていると思います。

お金は六つの富の中のひとつです。お金だけが飛び抜けてあってもしあわせではありません。でもお金は生活を支える上で必要です。さらに、お金はいくらでもよいことのためにつかい、世の中の人々を喜ばすこともできるのです。まさに「たかがお金、されどお金」なのです。

お金は単にモノを買うための道具ではありません。お金にはいつも「ころろ」がついているのです。ですからころろの込め方でお金はしあわせ持ちになるための大切な道具になるのです。

<お金ってなに？>

お金ってどうして大切なんだろうね。子どもたちに聞いてみます。みんな「・・・」と、沈黙です。考えたこともないのでしょうか。おずおずと手をあげる子どももいます。「お金がないとモノが買えない」、「お金がなければ生活ができない」そんな返事が多いのです。

では、お金を山ほど持っていて無人島に一人で住んでいたらどうなるだろうね。またもや「・・・」です。無人島ではお金の価値はなくなります。

お金の価値があるのは自分が必要なもの、欲しいものと交換できるからです。必要なモノや欲しいモノが手に入ると「うれしい」、「ありがたい」と思います。だから自分が一生懸命に稼いだお金を相手に渡すのです。

つまり、「お金は感謝のしるし」なのです。お金にダークなイメージを持つ人も多いものです。でも、お金は感謝と手に手を取って一緒に世の中をめぐるのです。

<どうしたらお金を稼げるか>



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

お金は感謝のしるしです。ですからお金を稼ぐにはどうしたらよいのかと言えば、他人に感謝されることをすればよいのです。

はたらくということは「はた」の人を「らく」にしてあげることだと言います。子どもたちの質問でいつも非常に多いのが「楽しくお金を儲ける方法はありませんか」というものです。社会に出て働くということが非常に苦しく辛いことをしなければならないと考えている子が多いようです。私はいつも「楽しく儲けることはできないよ。でも、楽しく儲けることはできる」と答えています。他人が喜んでくれることをすれば自分も楽しい。それで感謝のしるしのお金ももらえる。

仕事というのは「仕える事」です。「仕える」という言葉は自分より上位のものに奉仕することです。私たちの最上位にあるのは「世の中」です。ですから良い世の中創りに貢献するのが仕事なのです。